

対馬北警察署協議会第4回会議議事概要

日 時	令和4年11月4日(金) 14時00分～15時20分
場 所	対馬北警察署講堂
出 席 者	<p>1 協議会 山本会長 吉野委員 市山委員 小宮委員 園田委員</p> <p>2 警察署 古川署長 岸川副署長 太田地域交通課長 警備係長</p> <p>3 書記 警務係長</p>
会 議 の 状 況	<p>1 前回会議での協議会の意見に対する推進状況について署長から、前回協議会の提出意見に対する推進状況について、次のとおり説明があった。</p> <p>(1) 「梅雨入りに伴う災害対策の推進」について</p> <p>ア 関係機関との連携</p> <p>(ア) 防災関係機関と情報共有体制を構築した。</p> <p>(イ) 防災関係機関と相互の役割分担等を確認した。</p> <p>イ 署内体制の強化</p> <p>(ア) 災害危険箇所の実態把握を推進した。</p> <p>(イ) 職員に対する教養・訓練を実施した。</p> <p>(ウ) 装備資機材の点検・整備を実施した。</p> <p>(エ) 災害警備計画を策定した。</p> <p>ウ 災害広報</p> <p>各種広報イベントを活用した災害広報のほか、長崎県警察公式SNSに災害危険箇所の確認状況を掲載するなど、自主防犯意識の高揚を図った。</p> <p>(2) 「大型連休及び夏に向けた防犯活動の推進」について</p> <p>ア 犯罪なく3ば運動推進モデル事業所の指定</p> <p>管内の商業施設を犯罪なく3ば運動推進モデル事業所に指定した。</p> <p>イ 防犯活動の強化</p> <p>(ア) 防犯講話、国境マラソン会場等における防犯キャンペーンを実施した。</p> <p>(イ) 学校における不審者対応訓練、薬物乱用防止教室を実施した。</p> <p>(ウ) ニセ電話詐欺被害防止に係る「生活安全ニュース」を発売し、撃退機を希望者宅に設置した。</p> <p>(エ) 児童下校時における通学路合同見守り活動を実施した。</p> <p>(オ) 防災行政無線を活用した防犯広報を実施した。</p> <p>(カ) 学校警察連絡協議会を介して相互連携を強化した。</p> <p>2 令和4年7月から9月までの業務重点推進結果について署長から、次のとおり説明があった。</p> <p>(1) 警察官採用試験募集広報活動の推進</p>

	<p>(2) ニセ電話詐欺を始めとする犯罪抑止対策の推進</p> <p>(3) 犯罪検挙活動の推進</p> <p>(4) 新型コロナウイルス感染拡大の情勢を踏まえた継続的な交通事故抑止対策の推進</p> <p>(5) 管内の実態把握</p> <p>(6) 災害対策の推進</p> <p>3 業務重点推進計画について 署長から、次のとおり説明があった。</p> <p>(1) 犯罪被害者支援活動の住民への広報の推進</p> <p>(2) ニセ電話詐欺防止活動を始めとする年末の犯罪抑止対策の推進</p> <p>(3) 犯罪検挙活動の推進</p> <p>(4) 交通事故抑止活動の強化</p> <p>(5) 地域警察活動を通じたニセ電話詐欺防犯指導の推進</p> <p>(6) 沿岸対策の推進</p> <p>4 諮問テーマの設定について 署長から、協議会に対して次のとおり諮問テーマが設定され、次回協議会において答申されることとなった。</p> <p>(1) 諮問テーマ 「効果的なニセ電話詐欺被害防止対策」について</p> <p>(2) 設定理由 長崎県警察では、令和4年1月から、「特殊詐欺」を「ニセ電話詐欺」と呼称変更して、被害防止対策に力を入れているところであるが、当署管内でも不審電話等に関する相談も多数寄せられており、ニセ電話詐欺被害防止対策について意見を求めるもの</p>
提出意見	<p>1 年末年始に向けた各事業所を巻き込んだニセ電話詐欺防止対策の推進 年末年始は、島外からの旅行者や帰省者など人が多くなる時期なので、商業施設や宿泊施設など、多くの事業所を巻き込んで、地域全体でニセ電話詐欺防止対策を推進して欲しい。</p> <p>2 年末年始に向けた事件事故の防止対策の推進 年末年始に向けて何かと慌ただしい時期となり、忘年会や島内への帰省者との宴会など飲酒の機会も増えることから、各種事件事故の発生が予想されるため、事件事故の防止対策を推進して欲しい。</p>